



Subaru

男声合唱団

ニュース№412 '13. 5. 19

祭典・制作協力金

昂・5/17現在 624,000円です。
(前回 +50,000)

昂目標 600,000達成!御礼

千秋さんソロ披露、古谷さん入団!

5月17日

□5月17日(金)は久しぶりに橋本さんの体操に始まり、本並先生のヴォイストレーニングと指揮、森さんのピアノでレッスンしました。「千秋ソロコン」曲の「フィンランディア」は、1番は千秋ソロ、2番は合唱で、田中さん、安場さんのアコーディオンを交えて、続いて、同じく「千秋ソロコン」曲の「地底のうた」もアコを交えて、休憩後、「合唱発表曲」の「母なるヴォルガを下りて」と「音戸の舟唄」をレッスンしました。参加は新入団の古谷さん、手術から復帰の三谷さんを迎えて、全33名でした。

□「千秋テノールソロコンサート」の演奏曲のうち2曲を今日披露してもらいました。「わが母のうた」とドイツ語で「魔王」。なんとハリと迫力のある美声、いつブレスしているのか心配になるほど伸びのある声が続き、表現力の豊かさにも皆うつとり。本番が楽しみです。



5月26日 千秋昌弘テノールソロコンサート チケット完売!!

5月17日現在入金は649枚!

東成区民センター大ホール615席。まだ、未入金のチケットが出回っていて、当日来客もあるので、
拡大はこれで打ち止めにします。ご協力感謝!!

千秋昌弘テノールソロコンサート

□5月26日(日) 9:30集合(リハ、会場設営)
(開場13:30 開演14:00)

- 東成区民センター
- 服装 赤シャツ、9条バッジ、黒ズボン、黒靴
- 「地底のうた」、「フィンランディア」

地下鉄千日前線・今里線「今里駅」②出口出てすぐ左折歩3分



ようこそ！古谷さん！

□古谷さんが新入団し、5月17日（金）のレッスンから参加されました。パートはB Sで重厚な良い声をお持ちです。今まで神戸で活躍されていましたので合唱はベテランです。ようこそ！大歓迎です。一緒に合唱を楽しみましょう。



「春なのに」・・・菅野祥子さん

若園さんが、大船渡市の「気仙新聞」から記事を入手してくださいました。

音楽を通じて復興に携わって行きます。



声楽家（ワイン在住）菅野祥子さん

三月十一日の大震災後、桃源郷と呼んでいた故郷・気仙の何もかもが一変してしまいましたが、心の中には今でもはつきりとあの頃ののどかで美しい姿を思い浮かべること

ができます。故郷の風景を忘れずに、これからに向かって歩んでいきたい気持ちを込めて「春なのに」という曲を作りました。今後も音楽を通じて皆さんと共に復興に携わって行きたいと思います。気仙の自然と、そこに生きる人々の力で桃源郷は必ず蘇ると信じています。（「春なのに」はユーチューブで聞くことができます）

転載：「気仙新聞」もう一つの記事から

声楽家 菅野祥子さん

◆「自然の強さ」が育んだ声楽家の感性

陸前高田市出身の菅野祥子さんは、オーストリアのワインを拠点に活動する声楽家です。高校在学中、合唱部に入部したのがきっかけで歌う楽しさに目覚めたといいます。以後、東京芸術大学声楽科などを経て、現在では「ワイン少年合唱団」の声楽指導を勤めるなど世界を舞台に大活躍しています。

そんな菅野さんが現在住んでいるワインの町の北西部には、東京の三分の一もの広さの「ワインの森」があるそうです。

ワインの人々はその大自然を受容する力を持っていて、いつも自分のリズムを失わずに生きている、と話す菅野さん。そんなワインの人たちの生き方はどこかこの気仙の人たちと似ているのかもしれません。年に一、二回は郷里の老人ホームへの慰問や「ふるさとサマーフェスティバル」などを開催している菅野さんですが、気仙ですごすひと時は「ひとの暖かさが身に染み、元気が沢山貢える時間」だと言います。



ワイン少年合唱団とともに